

韓国研修の感想

—授業について、海外の大学からみた本学について—

092015 後藤びおら

私たちは韓国3日目の9月19日に、高麗大学校と高麗大学校保健科学大学を訪問しました。高麗大学校は1905年に創立した大学で、創立100周年を超えた歴史のある大学です。高麗大学校は私が今まで見た大学の中で最も大きく、設備の優れた大学でした(Fig.1,2)。まず驚いたのが沢山の緑に溢れた広大なキャンパスです。高麗大学校以外の大学も見学しましたが、韓国は日本に比べ自然が多いと感じました。大学内も芝生や木々が生い茂り、空気がよく過ごしやすかったです。

保健科学大学は1963年創立で来年創立50周年を迎える大学で、臨床病理学科、放射線学科、物理治療学科、治技工学科、保険行政学科、生体医工学科、食品栄養学科、環境保健学科の8つの学科によって成り立っている大学で、非常に広い敷地内に講義専用の校舎、図書館などいくつもの建物があ、群馬県立県民健康科学大学との違いに驚きました。また、保健科学大学は24時間あいていて、学生はいつでも利用できるようになっていました。そのため、試験前になると学生が多く利用するようです。私の大学にもこのような環境があればいいなと思いました(Fig.3)。

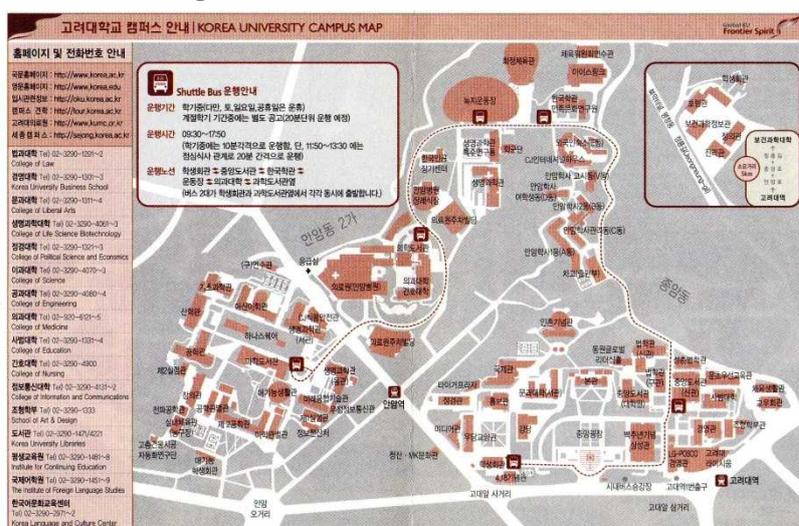


Fig.1 高麗大学校の全体図



Fig.2 高麗大学校の中央広場



Fig.3 保健科学大学の学習室



Fig.4 講義の様子

保健科学大学では校内見学とともに講義を聴講させていただきました(Fig.4)。内容は「放射線治療計画」で講義は英語で行われ、配布資料も英語でした。英語での講義は初めてだったので難しかったですがとても新鮮で、勉強になりました。保健科学大学では、英語での講義を5単位取得しないと卒業が出来ないと聞きました。このような英語での授業があることで学生は英語を話すことが出来、大学の国際化につながっているのだと感じました。また、目の前にパソコンがあるのにも関わらず誰一人遊ぶことなく、真面目に講義を聞き一生懸命メモを取っている姿をみて感銘を受けました。講義を約3時間聴講しましたが、講義体制は本学と異なり、45分おきに15分ほどの休憩があり、その休憩の間に先生に質問したりしていました。

私は高麗大学校を見学して、高麗大学校は非常に広く勉強できる環境が沢山あるので非常に良い環境だと感じました。高麗大学校の学生を見習って、私も日々勉強を頑張っていきたいと思いました。また、韓国語や英語を勉強し少しでも理解できるようになりたいと思いました。

高麗大学校にはお洒落で落ち着いたあるカフェテリアや広いショップ、屋上庭園(Fig.5)など学習以外の施設も充実しており、学生はのびのびと学生生活を送っていてとても羨ましかったです。韓国トップクラスの大学生たちがどのような学生生活を送っているのかを間近で見ることができ、とても刺激を受けました。

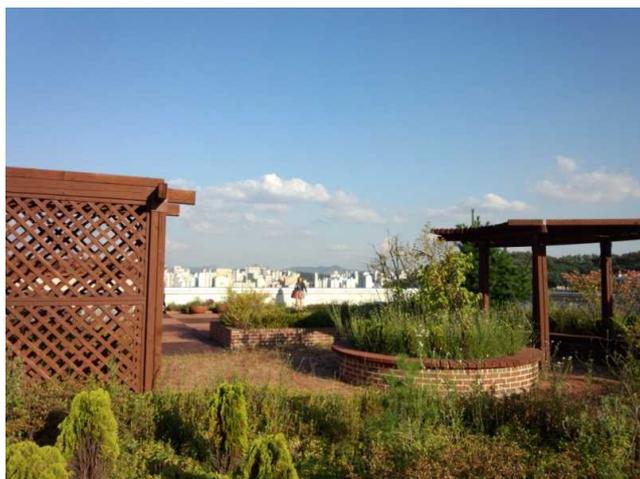


Fig.5 保健科学大学の屋上庭園

今回が私にとって初めての韓国で、多くのことを学ぶことが出来ました。成田空港からソウルまで 2 時間で着いてしまうほど近いですが、日本と異なることがたくさんあり驚きました。

韓国の電車・バス・タクシーは乗車賃がとても安く驚きましたが、それよりも韓国人はせっかちな人が多く、電車の中で何回もぶつかったことに驚かされました。そのため、出入り口付近にいるときは周りの状況を見ておくことが必要だと思います。

ホテルの近くの市場にはたくさんの店が密集していて、永登浦伝統市場という大きなアーケードになっている市場もありました。中には鶏の足や生きたカタツムリを売っている店もあり、日本との違いを実感しました(Fig.6,7)。



Fig.6 ホテル近くの市場



Fig.7 市場で売っていたカタツムリ

今回の旅行は、個人旅行と違って大勢で行くことで初めて会った後輩とも楽しく話をすることが出来、とても有意義なものになったと思います。また、今回、観光の時間が少なく、買い物の時間も多くとることが出来なかったのも、次回韓国に行く時にはソウルタワーなど観光名所にも訪れたいと思っています。

勉強に忙しい中 3 日間私たちを案内していただいたユンさん、ハンさん、ホーさん、イムさんありがとうございました。